

第1期（平成16年9月～平成17年8月）

・第1回環境生態工学研究所講演会 平成17年1月27日（木）

「環境保全型農村のあり方～環境に優しい農村とは～」

農村における生物多様性をめぐる課題	埼玉県環境科学国際センター総長	須藤 隆一
植栽浄化による水環境の保全	東北大学大学院教授	西村 修
環境とバイオテクノロジー	東北大学大学院教授	西野 徳三

・第2回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成17年6月4日（土）

汚濁物質の高度処理と余剰汚泥減量化を可能とした排水処理システム

	環境エンジニアリング(株)	平田 正一
土木学会技術功労賞の受賞を受けて		千葉 信男
最近の環境問題の動向について		須藤 隆一

・「海藻の森セミナー」平成17年7月23日（土）

海藻が海を救う

食材としてのアカモク

アカモクを育てる

		西村 修
	尚絅学院大学教授	早坂千恵子
	塩釜市漁業協同組合	鈴木 久仁

・第3回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成17年9月17日（土）

海藻の森に想いを寄せて

小規模分散型生活排水対策を広めようー浄化槽普及の課題と展望ー

	(株)シーフーズあかま	赤間 廣志
		須藤 隆一

第2期（平成17年9月～平成18年8月）

・第1回定時総会講演会 平成17年10月8日（土）

農村の環境問題に対する環境工学の役割

安全で安心な飲み水を考える

	日本大学大学院総合科学研究科教授	野池 達也
	国立保健医療科学院室長	秋葉 道広

・第1回「伊豆沼・内沼の生態系保全と環境修復」セミナー 平成17年11月19日（土）

生物の多様性と環境保全

伊豆沼・内沼の生態系と環境特性

伊豆沼・内沼における外来魚の現状と対策

		須藤 隆一
	東北工業大学教授	柴崎 徹
	NPO 法人シナイモツゴ郷の会理事	高橋 清孝

・第2回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成18年1月28日（土）

微生物と環境

蛍光消光現象を利用した遺伝子解析技術 QP(Quenching Probe / Primer) 法のご紹介

	宮城県保健環境センター	秋山 和夫
	環境エンジニアリング(株)	藤田 信也

・第3回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成18年3月25日（土）

「植生浄化法による農村（あるいは農業）地域水質環境改善の試みについて」

多機能植物利用水質浄化実証事業の概要

高濃度硝酸含有水を対象とした植生浄化法の試み

みんなで守る水ー前後同一アンケートによる環境学習効果の評価ー

阿川沼における植生浄化手法の検討

農村集落排水処理水の浄化手法について

	宮城県産業経済部農村基盤計画課	小山 純
	東北工業大学教授	江成敬次郎
	東北工業大学講師	近藤祐一郎
	(株)スカイ環境研究所	八巻 輝子
	東北大学大学院工学研究科文部技官	千葉 信男

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所

『セミナー・講演会の記録』

・第4回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成18年5月20日(土)
最近の水環境の動向 須藤 隆一
担体流動槽と生物ろ過槽を組み合わせた浄化槽の容積比率が有機物と窒素除去に及ぼす影響に関する研究
(社)宮城県生活環境事業協会浄化槽法定検査センター 齋藤 茂
高温好気処理法の高効率化と利用技術 東北大学大学院工学研究科特別研究員 田 庚昊

・「海藻の森セミナー」
「夢の扉」放送始末記 佐々木久雄
御竈神社の藻塩焼神事 鹽竈神社博物館学芸員 茂木 裕樹
機能性食品としてのアカモク 三重大学教授 田口 寛

・環境生態工学研究所講演会 平成18年8月11日(金)
「環境資源活用セミナー」
持続可能な社会構築に向けて NPO 法人循環共生社会システム研究所 内藤 正明
わが国におけるバイオマスの利活用の動向 日本大学大学院総合科学研究科教授 野池 達也

第3期(平成18年9月～平成19年8月)

・第2回定時総会講演会 平成18年10月14日(土)
環境における海外技術協力の方向性 国土交通省東北地方整備局企画部技術企画官 佐瀬 浩市

・第1回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成18年12月9日(土)
講演
水生植物による環境修復をめざして 須藤 隆一
事業報告
「松島湾におけるアカモクを用いた環境修復についての事例報告」
・アカモクのアレロパシー作用について 西村 修
・アカモク藻場の生態系調査結果について 三国屋建設コンサルタント(株) 久保田龍二
「阿川沼における植生浄化手法の取組みについて」
・ヘチマの発生物(実など)の利活用法の検討 千葉 信男
・環境教育への取り組み (株)スカイ環境研究所 八巻 輝子
『いきづく湖沼ふれあいモデル事業(伊豆沼いきいきプロジェクト)』について
・水質について 日鉄環境エンジニアリング(株) 大谷 考一
・生物について (株)エコリス 須藤 哲平

・第2期臨時総会セミナー 平成19年2月10日(土)
惣の関ダムの水環境調査結果について 東北大学大学院工学研究科土木工学専攻環境生態工学研究室 千葉 信男
ロックウールを利用した鉄分等の新規除去技術について 日鉄環境エンジニアリング(株) 大石 徹

・E-TEC&KIESS ジョイントセミナー 平成19年4月7日(土)
水環境行政の課題 須藤 隆一
環境生態工学研究所の今後の展望 西村 修
ヘチマを利用した農業用ため池の水環境修復 千葉 信男
大型褐藻アカモクを利用した内湾の水環境修復 佐々木久雄
流域総合シミュレーションモデルの紹介 KIESS 研究員 岩川 貴志

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所

『セミナー・講演会の記録』

持続可能な滋賀と流域三都との関わり

KIESS 研究員 五味 馨

・「緊急フォーラム気候の安定化に向けて直ちに行動を！—科学者から国民への緊急メッセージ—」

平成 19 年 4 月 28 日 (土)

なぜ緊急メッセージが必要か

須藤 隆一

地球温暖化問題の現状と課題

(独) 国立環境研究所社会環境システム研究領域長 原沢 英夫

・第 2 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成 19 年 6 月 23 日 (土)

環境立国をめざして

須藤 隆一

生態工学の現状と展望

稲森 悠平

地域のバイオマス資源の有効活用 エネルギーの地消地産に向けて～地域活性化に向けた取組～

みやぎ未来バイオ合同会社 深松 努

・「海藻の森セミナー」 平成 19 年 7 月 7 日 (土)

保健機能性食品としてのアカモク

富山大学薬学部教授 林 利光

海藻で街興し(ガゴメコンブ等未低利用海藻の函館市を例にして)

北海道大学水産学部教授 嵯峨 直恆

・「日・韓環境生態工学セミナー」平成 19 年 8 月 3 日 (金)

济州島の新材再生エネルギー資源量及び活用法案

韓国济州大学校教授/韓国济州地域環境技術開発センター長 許 喆九

(Chul Goo Hu)

济州島の水環境と管理方案

韓国济州大学校教授 李 容斗

(Lee Yong Doo)

沿岸域環境の現状と課題～有明海と松島湾を例に～

東北大学大学院教授 西村 修

松島湾の水環境保全

(株)国際航業 井上 公人

第 4 期 (平成 19 年 9 月～平成 20 年 8 月)

・第 3 回定時総会講演会 平成 19 年 10 月 13 日 (土)

微生物を用いるバイオガスの生成および土壌・地下水の環境修復

日本大学大学院総合科学研究科教授 矢木 修身

バイオマスエネルギーの現状と課題

東北大学大学院工学研究科准教授 李 玉友

・第 1 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成 19 年 12 月 8 日 (土)

伊豆沼の自然再生について

西村 修

高水面積負荷へチマ浄化水路における栄養塩除去能力の検討

東北大学大学院土木工学科 田中 祐介

・第 2 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成 20 年 2 月 9 日 (土)

低炭素社会づくりをめざして

須藤 隆一

惣の関ダムにおける「みやぎ型ストックマネジメント」への取り組みについて

宮城県仙台地方ダム総合事務所 小林 晴紀

ビオトープマップによるわが街・仙台の緑の処方箋～これからの「杜の都・仙台」へ向けて～

東北緑化環境保全(株) 矢野 篤男

・第 3 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー (事業報告会) 平成 20 年 4 月 19 日 (土)

惣の関ダム水質改善調査業務委託

千葉 信男

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所

『セミナー・講演会の記録』

広島県尾道海域における実海域試験調査 (株)スカイ環境研究所 狩野 力
阿川沼・ヘチマを用いた環境教育への取り組みについて (株)スカイ環境研究所 八巻 輝子
いきづく湖沼ふれあいモデル事業(伊豆沼いきものいきいきプロジェクト)について
・水質について 日鉄環境エンジニアリング(株) 村岡 誠彦
・生物について (株)エコリス 須藤 哲平

・第2回「E-TEC&KIESS ジョイントセミナー」
滋賀をモデルに持続可能社会のビジョンを描く KIESS 代表理事 内藤 正明
自然エネルギーを活用した流域システム KIESS 研究員 岩川 貴志
日本の伝統的知恵と持続性 KIESS 事務局長 荒田 鉄二
気候変動と水環境 須藤 隆一
北上川の山と海の問題を考える～水産廃棄物を活用した旧松尾鉱山強酸性荒廃地の植生回復をめざして～ 山田 一裕
農からみた温暖化 E-TEC 会員 佐々木勝裕

・第3回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成20年6月7日(土)
洞爺湖サミットに向けて— 低炭素社会の早期実現のために活動を開始しよう — 須藤 隆一
ふるさとの健全な水環境を目指して— 猪苗代湖や阿武隈川を例として— 日本大学工学部前教授 中村 玄正

・「海藻の森セミナー」平成20年7月12日(土)
里海の再生をめざして—里山・里地・里川との連続性をみつめて— 須藤 隆一
松島湾の環境改善のために 塩竈市漁業協同組合組合長 鈴木 久仁
海の恵みと山の恵みのかかわり 岩手県アカモク生産協同組合組合長 高橋 清隆
水産廃棄物を活用して旧松尾鉱山強酸性荒廃地の植生回復をめざす 山田 一裕

・第4回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成20年8月2日(土)
環境に優しい腐食防食技術 日鉄環境エンジニアリング(株) 井上 政春
バイオ燃料の品質評価技術紹介 日鉄環境エンジニアリング(株) 箭内 朋子

第5期(平成20年9月～平成21年8月)

・「地方環境研究所研究交流シンポジウム 宮城・山形・埼玉環境研究所研究業務検討会」 平成20年9月13日(土)
地方環境研究所に期待する 須藤 隆一
埼玉県における希少種二枚貝の保全と底質環境に関する研究 埼玉県環境科学国際センター研究員 田中 仁志
酵母ツーハイブリッド法によるバイオアッセイの研究と応用 宮城県保健環境センター 大金 仁一
身近な川や水辺の健康診断 山形県環境科学センター 辻 浩子

・第4回定時総会講演会 平成20年10月11日(土)
森林域における窒素飽和とその改善に向けて (独) 国立環境研究所水圏環境研究領域土壌環境研究室長 林 誠二
河川環境と地域活性化 国土交通省東北地方整備局釜房ダム管理所長 松川 正彦

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所

『セミナー・講演会の記録』

・第1回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成20年11月29日(土)

低炭素社会に向けて一層の努力を
水酸アパタイトを利用した脱窒・脱リンと重金属の捕捉
今、なぜ、“バイオマスニッポン”なのか

山梨大学工学部名誉教授 須藤 隆一
鈴木 喬
ジャパンサイクル(株)代表取締役 佐藤 武郎

・第2回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成21年2月14日(土)

我が国の水環境健全性指標と低炭素社会における分散型処理システム
水環境健全性指標とは—その考え方と使い方—
エネルギーを必要としない水処理技術～湿地浄化法の最前線～

(株)共立理化学研究所ほか 須藤 隆一
石井 誠治
東北大学大学院工学研究科准教授 中野 和典
中国重慶市の農村地域で見た人工湿地による生活排水処理と日中協力 (独) 国立環境研究所 水落 元之

・第3回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー(事業報告会) 平成21年4月11日(土)

惣の関ダム水質改善調査業務委託—カサスゲによる水質浄化—
阿川沼・ヘチマを用いた環境教育への取組みについて
伊豆沼の水環境保全活動の事例紹介

千葉 信男
八巻 輝子
大谷 考一
須藤 哲平
山田 一裕

(株)スカイ環境研究所
日鉄環境エンジニアリング(株)
(株)エコリス

水産廃棄物を活用した旧松尾鉾山荒廃地の植樹活動

・第3回「E-TEC & KIESS ジョイントセミナー」『生態工学的的手法による水環境保全』

平成21年5月8日(金)

惣の関ダム水質改善調査業務委託—カサスゲによる植生浄化—
阿川沼ヘチマを用いた環境教育への取組みについて
伊豆沼の水環境保全活動の事例紹介
超微細気泡を用いるガス溶解技術の水質浄化への応用
琵琶湖の水位操作がコイ科魚類の産卵・干出に与える影響のシミュレーションと対策効果予測

千葉 信男
八巻 輝子
大谷 考一
吉岡 修哉
佐藤 祐一
岩川 貴志

E-TEC 会員
E-TEC 会員
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター研究員
KIESS 研究員

“自然共生社会”をイメージ化する滋賀での取組み

・第4回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成21年5月23日(土)

環境問題への対応 現場から
LCA 手法を用いた漁業の環境影響評価について
日本の参加型灌漑管理と農業水利事業

東北大学大学院工学研究科客員教授 相川 良雄
宮城県水産総合研究センター 渡邊 一仁
宮城県東部地域振興事務所 郷古 雅春

・第5回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成21年6月13日(土)

海洋メゾコズムを用いた生態系遷移・物質循環研究 宮城大学食産業学部 環境システム学科 原田 茂樹

・「海藻のセミナー」 平成21年6月20日(土)

岩手県の海の現状について
海の問題・藻場の機能とその活用
山の問題・海の資源を山で活用

岩手県環境生活部環境保全課 岩渕 勝己
宮城県保健環境センター副所長 佐々木久雄
岩手県立大学総合政策学部 山田 一裕

・第6回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成21年7月11日(土)

滋賀をモデルに持続可能な社会をえがく NPO 法人循環共生社会システム研究所 岩川 貴志

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所

『セミナー・講演会の記録』

造粒乾燥法による脱水汚泥燃料化システムを活用した熱利用フィールドテスト事業成果報告
バイオソリッドエナジー(株) 光山 昌浩
「新省エネ法の概要」「省エネシステムの紹介」
東北制御システム(株) 板橋 好和
KM コンサルタンツ 熊谷 俊彦

・「惣の関ダムにおける微細気泡発生装置による水質改善現地実験の見学会」 平成 21 年 8 月 22 日 (土)
惣の関ダムの水質現況及び水質改善対策の検討 千葉 信男
惣の関ダム浄化実験の概要 立命館大学理工学部機械工学科 吉岡 修哉

第 6 期 (平成 21 年 9 月～平成 22 年 8 月)

・第 1 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成 21 年 9 月 12 日 (土)
人と調和する水環境を求めて(有毒アオコ問題を中心として) E-TEC 研究員 板山 朋聡
水の浄化と生態系 (生活排水処理からウイルスまで) E-TEC 研究員 田中 伸幸
環境と先端技術(マイクロナノテクノロジーの環境分野への適用) E-TEC 研究員 小出 昌弘

・第 5 回定時総会講演会 平成 21 年 10 月 10 日 (土)
水環境保全の新たな展開 水質保全二法から 50 年を経過して 須藤 隆一

・第 2 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成 21 年 11 月 21 日 (土)
立命館大学の概要と産学官連携の取組み 立命館大学研究部 中谷 吉彦
同 服部 華代
超微細気泡技術(マイクロバブル)による惣の関ダム水質浄化実験
立命館大学理工学部機械工学科 吉岡 修哉
韓国の 4 大江開発に関する小考
東北大学大学院工学研究科外国人客員研究員 金 富吉

・第 3 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成 22 年 1 月 23 日 (土)
我が国の水環境保全政策と今後の課題—小規模排水対策を中心として— 須藤 隆一
厨房排水処理装置 ECOTRIM の説明と実施例
OPPC(株)営業部環境機器事業課浄化槽管理士 順毛 達仁
環境技術実証事業について (社) 埼玉県環境検査研究協会業務本部業務課課長 野口 裕司

・第 4 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー (事業報告会) 平成 22 年 4 月 17 日 (土)
惣の関ダム水質改善調査業務委託—カサスゲによる植生浄化— 千葉 信男
超微細気泡技術(マイクロバブル)による惣の関ダム水質浄化実験
立命館大学理工学部機械工学科 吉岡 修哉
阿川沼・ヘチマを用いた環境教育への取組みについて (株)スカイ環境研究所 八巻 輝子
伊豆沼の水環境保全活動の事例紹介 日鉄環境エンジニアリング(株) 大谷 考一
(株)エコリス 須藤 哲平
水産廃棄物を活用した旧松尾鉦山荒廃地の植樹活動 山田 一裕

・第 4 回「E-TEC&KIESS ジョイントセミナー」 平成 22 年 5 月 22 日 (土)
微細気泡による惣の関ダムへの酸素供給・水質浄化実験 E-TEC 会員 吉岡 修哉
旧松尾鉦山荒廃地の植生回復から流域管理をめざす仕組みづくり 山田 一裕

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所

『セミナー・講演会の記録』

持続可能社会を目指して—滋賀をモデルとする自然共生社会の将来像とその実現手法—

KIESS 研究員/滋賀県琵琶湖環境科学研究センター主任研究員 金 再奎
JST 社会技術研究開発センター採択プロジェクトメンバー 岩川 貴志

循環社会を目指して—地域における資源（生ごみ）循環の取組みと可能性—

KIESS 理事/石川県立大学生物資源工学研究所助教 楠部 孝誠

交流会 平成 22 年 5 月 23 日（日）

～地域住民と協働でつくる川づくりの実践～ 宮城県仙台土木事務所河川第一班 技術次長 小林 晴紀

・「海藻のセミナー」 平成 22 年 7 月 10 日（土）

宮古湾の藻場・干潟を守る取り組みについて—稚魚を育む藻場・干潟の大切さ—

宮古湾の藻場・干潟を考える会会長 山根 幸伸

海藻の有効利用と地域水産業の活性化—捨てられてきた『すじめ』の商品化—

岩手県立宮古水産高等学校食品家政科 山崎 恵

同 山口 雅春

同 村上 千鶴

水産物の有効利用について

岩手県立宮古水産高等学校食品家政科 徳山 信次

藻場再生—アカモク利用の経過報告

東北大学大学院工学研究科環境生態工学研究室教育研究指導員 佐々木久雄

水産廃棄物を活用した松尾鉦山植樹活動の経過報告 東北工業大学工学部環境情報工学科教授 山田 一裕

第 7 期（平成 22 年 9 月～平成 23 年 8 月）

・第 6 回定時総会講演会 平成 22 年 10 月 2 日（土）

浄化槽対策の推進をめぐる課題 環境省廃棄物・リサイクル対策部浄化槽推進室室長 樽林 茂夫

・第 1 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成 22 年 12 月 11 日（土）

広瀬川における石河原の復元について～地域住民との協働でつくる自然川づくり～

宮城県仙台土木事務所 小林 晴紀

広瀬川における石河原復元を対象とした環境モニタリング

(株)エコリス 吉田 馨

宮城の音風景を訪ねてみよう～広瀬川・北上川河口ヨシ原～

山田 一裕

・第 2 回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー（事業報告会） 平成 23 年 4 月 9 日（土）

惣の関ダム水質改善対策について—Fe 及び Mn の除去について

千葉 信男

超微細気泡技術(マイクロバブル)による惣の関ダム水質浄化実験

立命館大学理工学部機械工学科 吉岡 修哉

広瀬川における石河原の復元を対象とした環境モニタリング

(株)エコリス 吉田 馨

伊豆沼の水環境保全活動の事例紹介

日鉄環境エンジニアリング(株) 大谷 考一

(株)エコリス 須藤 哲平

水産廃棄物を活用した旧松尾鉦山荒廃地の植樹活動

山田 一裕

宮城の音風景を訪ねてみよう～広瀬川・北上川河口ヨシ原～

山田 一裕

・意見交換会～環境文明 21 加藤三郎氏を迎えて～ 平成 23 年 7 月 23 日（土）

持続可能な社会づくりにつながる復興ビジョンを

NPO 法人環境文明 21 共同代表 加藤 三郎

同

藤村 コノエ

・第3回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成23年8月20日(土)

プラズマを用いた水環境改善及び農学的活用

岩手県立大学電気電子・情報システム工学科准教授 高木 浩一

グリーンインフラを活用した街づくりとは?～ヒートアイランド対策から震災復興まで～

東北大学大学院工学研究科准教授 中野 和典

第8期(平成23年9月～平成24年8月)

・第7回定時総会講演会 平成23年10月15日(土)

福島第一原子力発電所事故の影響と今後の原子力政策

内閣府原子力委員会委員 秋庭 悦子

・第5回「E-TEC&KIESS ジョイントセミナー」(第3回エコライフチャレンジセミナー特別報告会「東北からドイツからそして私たちのまちを考える」 平成23年11月12日(土)

東日本大震災被災地における環境問題の解決に向けて

須藤 隆一

被災後の気仙沼市及び南三陸町の沿岸海域における環境の現況

佐々木 久雄

大震災が問いかけるもの

KIESS 代表理事 内藤 正明

これからの地域技術の必要性

KIESS 事務局長/鳥取環境大学准教授 荒田 鉄二

微細気泡の環境技術への応用

E-TEC 会員 吉岡 修哉

鈴鹿カルチャーステーションの活動紹介

SCS 代表理事 坂井 和貴

鈴鹿市議会議員 市川 哲夫

里山クラブ 高崎 広

・第1回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成23年12月10日(土)

水回り由来のCO₂ 排出量定量化研究と節水型ライフスタイルの提言活動

TOTO 株式会社 ESG 推進部 清水 康利

次世代排水処理システムによる震災被害地の生活環境復興～三井物産環境基金「2011年度東日本大震災復興助成」の研究概要～

(財)茨城県薬剤師会公衆衛生検査センター 山崎 宏史

・「環境放射性物質除染セミナー」 平成24年4月28日(土)

多機能盛土による放射性物質汚染土壌・廃棄物等の保管および空間線量低減対策技術

北九州市立大学国際環境工学部 教授 伊藤 洋

セラミックによるセシウム除去実験の報告

千葉 信男

放射能除染対策技術の現状と課題

東京農工大学工学部応用化学科 教授 細見 正明

福島県における除染対策の現状と課題

福島大学共生システム理工学類 教授 稲森 悠平

宮城県における放射能除染対策

東北大学大学院工学研究科客員教授 須藤 隆一

浄水発生土の処理・処分の現状と課題

国立保健医療科学院統括研究官 秋葉 道宏

・第2回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成24年6月30日(土)

伊豆沼の水環境保全活動の進捗状況

エコナビゲート㈱ 大谷 考一

地震津波被害の松島湾における漁場環境の再生と持続可能な循環型水産業の再構築に関する研究

・松島湾の藻場被害調査結果について

佐々木久雄

・松島湾の藻場の生物生息地適正化モデル(HSIモデル・マクセント法)の検討結果について

佐竹 一秀

平成23年度 東日本大震災・津波による堆積土の再活用技術の検討

千葉 信男

鉄鋼スラグを利用した藻場再生の試み

佐々木久雄

次世代排水処理システムによる震災被害地の生活環境復興～三井物産環境基金「2011年度東日本大震災復興助成」の研究成果 1

(財)茨城県薬剤師会公衆衛生検査センター 山崎 宏史

北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動
東日本環境機構(EES)の事業報告

山田 一裕
櫻井 一平

第9期 (平成24年9月～平成25年8月)

・「震災から一年、今こそ語り合おう次世代を担う学生たち。」平成24年9月3日(月)

今後の原子力発電について

内閣府原子力委員 秋庭 悦子

大震災被災地における放射能汚染とその除染対策

須藤 隆一

宮城県南部の子供たちの被曝の現状・提言に向けて

東北大学大学院薬学研究科ラジオアイソトープ研究教育センター 吉田 浩子

・第8回定時総会講演会 平成24年10月13日(土)

下水道と東日本大震災におけるJS(地方共同法人日本下水道事業団)の復旧・復興支援

地方共同法人日本下水道事業団東北総合事務所次長兼復旧・復興支援室長 園谷 秀夫

・第6回「E-TEC&KIESS ジョイントセミナー」「震災復興と持続可能な社会」平成24年10月27日(土)

津波による堆積土の特性とシロイヌナズナによる評価

千葉 信男

次世代排水処理システムによる震災被害地の生活環境復興～三井物産環境基金「2011年度東日本大震災復興助成」の研究成果2～

(財)茨城県薬剤師会公衆衛生検査センター 山崎 宏

松島湾の藻場の津波被害状況とその修復手法

佐々木久雄

地域が主役の持続可能な社会づくり

KIESS 研究員 岩川 貴志

一里野山家便り一里山での地域技術・適正技術実用化の試み等

KIESS 事務局員 佐藤 秀一

・第1回NPO法人環境生態工学研究所セミナー 平成24年12月8日(土)

地産地消型の小型風力発電に用いる新しい垂直軸風車

立命館大学理工学部機械工学科 吉岡 修哉

オゾン技術を用いた水処理技術の展開

住友精密工業株式会社環境ソリューション部水工学センター 林田 英麗

自然環境保全のためのデータの地図化・分析手法のご紹介～GISを利用して～

(株)エコリス環境計画課 水谷 貴行

・第2回NPO法人環境生態工学研究所セミナー 平成25年2月9日(土)

飲料水検査の基礎講座

(株)三菱化学アナリテック分析事業部分析技術部分析技術グループマネージャー 杉田 和俊

アジスアベバ市の上下水道について～エチオピアでのSV活動体験から～ 宮城県農村振興課 田中 博良

厚生労働研究水安全対策分野の研究開発の動向

国立保健医療科学院統括研究官 秋葉 道宏

・第3回NPO法人環境生態工学研究所セミナー(事業報告会) 平成25年5月11日(土)

事業報告

地震津波被害の松島湾における漁場環境の再生と持続可能な循環型水産業の再構築に関する研究

・松島湾の藻場の生物生息地適正化モデル(HISモデル・マクセント法)の検討結果について

佐竹 一秀

次世代排水処理システムによる震災被害地の生活環境復興～三井物産環境基金「2011年度東日本大震災復興助成」の研究成果3

西村 修

被災後の南三陸沿岸における里海復興活動

佐々木久雄

北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動

山田 一裕

セミナー

オゾン/AOPによる難分解性物質処理のご紹介

住友精密工業(株)環境ソリューション部水工学センター 村田 英麗

下水試験法の改正内容について

(財)宮城県下水道公社 鹿野 信宏

第10期(平成25年9月～)

・第9回定時総会講演会 平成25年10月12日(土)

いきものに学ぶ環境再生

横浜国立大学長 鈴木 邦雄

・第7回「E-TEC&KIESS ジョイントセミナー」「地域が主役の震災復興と持続可能なまちづくり」

平成25年10月26日(土)

東日本大震災復興活動への取り組み 震災被害を受けた南三陸町伊里前地区 夢のある自然共存型の地域社会
づくり 千葉 信男

微細気泡を利用する災害対応型水処理支援装置の研究

E-TEC 会員 吉岡 修哉

文明の避難場所づくり

KIESS 事務局長/鳥取環境大学環境学部准教授 荒田 鉄二

節電アクションプロジェクトからみた持続可能なまちづくりの可能性

KIESS 研究員 岩川 貴志

・第1回 NPO 法人環境生態工学研究所セミナー 平成25年12月14日(土)

COP19を受けて一わが国のGHGの削減—

須藤 隆一

東日本大震災による浅海域生態系の攪乱とその後の回復過程

石巻専修大学理工学部 玉置 仁

鉄鋼スラグ資材の活用による藻場の再生事業について

JFE スチール(株) 小山田久美